



2011/10/5

TWS shibuya

僕らはいま一体どこに立っているんだろう？

アートの課題 2011 | 多文化社会と新しいアートセンターの活動

Where do we go from here?

On the Agenda of the Arts 2011 | Cultural diversity and the activities of New Art Centers

2011/10/14 **金** - 11/30 **水** トーキョーワンダーサイト渋谷

参加アーティスト

チャン・ヨンヘ重工業 | Young-Hae Chang Heavy Industries

ディン・Q・リー | Dinh Q. Lê

ウィット・ピムカンチャナポン | Wit Pimkanchanapong

米田知子 | Tomoko Yoneda

トラン・ミン・ドウック | Tran Minh Duc

クウワイ・サムナン | Khvay Samnang

グリッサゴーン・ティンタップタイ | Krissakorn Thinthupthai

岩井優 | Masaru Iwai

小泉明郎 | Meiro Koizumi

田村友一郎 | Yuichiro Tamura



ディン・Q・リー | Dinh Q. Lê
《Erasure》2010
Mixed-media installation
Commissioned by the Sherman Contemporary Art Foundation, Sydney, Australia.



ស-សបាសាក់ SA SA BASSAC



平成23年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業



プログラム概要

「アート」の課題は、2007年にシンポジウムを開催して以来、トーキョーワンダーサイト (TWS) が継続的に開催しているプロジェクトです。世界各地からアートセンターのディレクターやアーティストを招き、「文化多様性」、「新しいアートセンターの活動」、「新たな公共性」をメインテーマに、展覧会、レクチャー、ラウンドテーブルを通してアートや創造的活動について意見を交わしてきました。本年度は、日本とアジアの若手アーティストと、アジアを代表するアーティストが、リサーチ、対話、制作を通して協働しながらこれらの課題に取り組むことで、新しい芸術の地平を開くことを目指します。

企画概要

2011年3月11日の前、すでに21世紀の幕開けの年にNYでは911、10年後にはジャスミン革命をはじめとする中東社会での市民革命と、21世紀に入って世界は新しい枠組みに向けてもがき始めていました。そして未曾有の大震災、災害によって私たちは自分たちの生き方そしてこの世界のあり方を見直さざるを得ないところに来ています。3.11から約半年、いまだに私たちのゆくべき道ははっきりと見えません。「僕たちはいま一体どこに立っているんだろう?」そして、「これから私たちはどこへ行くんだろう?」そんな問いを日々繰り返しているのではないのでしょうか? もちろんその問いは今に始まったことではありません。しかし、今こそ、それを問い続けているアーティストたちと深く考えてみたいと思っています。

本プロジェクトは、アーティスト・イン・レジデンスを通して行われ、「①展覧会、②教育プログラム、③滞在制作、④フォーラム」という4つのプログラムで構成されています。レジデンスにおける「内面に向かう創造性」と「他者や外部との対話による創造の場」という両面の意義に光を当てようとするものです。情報がハイスピードで駆け巡る現代社会において、その場に滞在し、対話を重ねることによって生まれてくる「プロセス」の重要性について、「アートが生まれる場」について、今一度しっかりと考えてゆきたいと思えます。

開催日程

2011/10	11	12	2012/01	02	03	04
展覧会 I 「僕たちはいま一体どこに立っているんだろう?」 (10/14-11/30)					展覧会 II 「レジデンス成果発表展」 (3/10-4/29)	
OPEN STUDIO (10/22)	OPEN STUDIO (11/19)		OPEN STUDIO (1/21)	OPEN STUDIO (2/18)	★ FORUM (3/10)	
	チャン・ヨンヘ 重工業 (11/7 - 12/4)				チャン・ヨンヘ (3月上旬)	
		ディン・Q・リー (11/23 - 12/22)			ディン・Q・リー (3月上旬)	
		ウイット・ビンカンチャナボン (9/19 - 10/2)			ウイット・P (3月上旬)	
トラン・ミン・ドゥック <TWS 青山滞在> (9/8 - 12/4)				小泉 明郎 <ベトナム滞在> (2/1 - 2/28)		
クワイ・サムナン <TWS 青山滞在> (9/9 - 12/4)			岩井 優 <カンボジア滞在> (12/28 - 2/11)			
グリッサゴン・ティンタップタイ <TWS 青山滞在> (9/8 - 12/4)				田村 友一郎 <タイ滞在> (2/1 - 2/28)		



☆印…平成23年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

1. 展覧会**(I) アートの課題2011「僕らはいま一体どこに立っているんだろう?」**

「僕らはいま一体どこに立っているんだろう?」、「これから私たちはどこへ行くんだろう?」。プロジェクトのスタートとなる本展では、各アーティストの紹介として既存作品を展示します。また、会期中、様々な分野の専門家とともに今日の社会的な問題やアートの役割について深く考察するレクチャーや、参加アーティストとゲストが各々取り組む主題や本プログラムを通して共有された問題について議論するラウンドテーブル、若手アーティストによるトークなど、様々な関連企画を開催予定です。詳細は当館ホームページをご覧ください。

■会期	2011年10月14日(金)～11月30日(水)
■会場	トーキョーワンダーサイト渋谷
■開館時間	11:00～19:00(最終入場は30分前まで) *10月28日(金)・29日(土)は21:00まで延長して開館
■休館日	月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
■入場料	無料
■主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
■パートナー機関	サン・アート(ベトナム)、ササ・アート・ギャラリー(カンボジア)
■協力	シュウゴアーツ(日本)

(II) アートの課題2011「レジデンス成果発表展」 ☆

このプログラムを通して制作された作品を、2012年3月の「アートの課題2011:レジデンス成果発表展」(仮称)にて公開します。

■会期	2012年3月10日(土)～4月29日(日)
■会場	トーキョーワンダーサイト渋谷

*同時開催 TWSクリエイター・イン・レジデンス オープンスタジオ「トーキョー・ストーリー 2011」(仮称)

■会場	トーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンス、トーキョーワンダーサイト本郷
-----	---

2. 教育プログラム ☆

これまでTWSでは、技術習得とは異なるクリエイティブな教育をアーティスト・イン・レジデンス(AIR)における国際ワークショップなどを通して探ってきました。近年趨勢をみるアジアのアートシーンは、マーケットや情報を通じて身近なものとなりつつありますが、実際の制作や共同制作を通して学び合える機会はあまり多くありません。本プログラムでは、世界の第一線で活躍するアーティストを指導者として招き、日本及びアジアの若手芸術家に対して様々な教育プログラムを実施します。また展覧会会期中には、公募による若い世代のアーティストへの公開レクチャー、ワークショップ、メンタリングも開催します。意欲ある若手芸術家からの応募をお待ちしております。

■講師	チャン・ヨンヘ重工業、ディン・Q・リー、ウィット・ピムカンチャナボン
■対象	若手芸術家(公募による)
■申し込み	事前申込制
■会期	※詳細は当館ウェブサイトにて発表します
■会場	トーキョーワンダーサイト渋谷、トーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンス
■参加料	無料



☆印…平成23年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

3. 滞在・協働制作

展覧会期中、アジア若手アーティストが来日し、日本人若手アーティストと協働しながらトーキョーワンダーサイト青山：クリエイター・イン・レジデンスを拠点に滞在制作を行います。その後、アジア若手アーティストの本拠地に日本人若手アーティストが滞在し、再び協働制作を行います。マスターアーティストからのメンタリングを受けながら、双方向の長期滞在を通して創造的対話を重点に展開します。若手作家によって制作された作品は2012年3月に展覧会IIにて発表、マスターアーティストのリサーチ・制作による新作は2012年秋に発表予定です。

<アジア⇄東京>

ベトナム⇄東京： トラン・ミン・ドゥック × 小泉明郎

カンボジア⇄東京： クウワイ・サムナン × 岩井優

タイ⇄東京： グリッサゴン・ティンタップタイ × 田村友一郎

●アジア若手アーティスト・東京滞在 ☆

2011年9月～12月

3名のアジア若手アーティストがTWSを拠点に、日本人若手アーティストとの協働、マスターアーティストによる指導を受けながらリサーチおよび滞在制作を行います。

●日本人若手アーティスト・アジア滞在

2012年1月～2月

3名の日本人若手アーティストが、アジア3カ国（ベトナム・カンボジア・タイ）にて滞在制作を行います。

●OPEN STUDIO

アジア若手アーティストは、滞在中、月に一回TWS青山：クリエイター・イン・レジデンスで開催している「OPEN STUDIO」に参加し、リサーチや制作のプロセスを公開します。

■会期	9月17日（土）、10月22日（土）、11月19日（土）
■時間	13:00 - 18:00（予定）
■入場料	無料
■会場	トーキョーワンダーサイト青山：クリエイター・イン・レジデンス

4. フォーラム「日本のアーティスト・イン・レジデンスの未来に向けて」 ☆

国内のレジデンス機関のネットワーク構築が従来試みられてきましたが、これまで行われてこなかった、活動テーマについての意識共有や連携を目指します。アジアを代表するレジデンス機関の運営者が一堂に会し、マスターアーティストらとともに、アジアと日本の課題を参照しながら汎アジア的な視点でアーティスト・イン・レジデンスの可能性と今後の在り方について討議します。2012年に予定されているアーティスト・イン・レジデンスの世界ネットワーク「レズ・アルティス」の東京大会へと続きます。 ※詳細は当館ウェブサイトにて発表します。

<議題>

- 1) 日本における新たな創造基盤としてのアーティスト・イン・レジデンスの可能性
- 2) アーティスト・イン・レジデンスを通してのクリエイティブな教育の可能性
- 3) アジアにおけるアーティストとアートの課題

■会期	2012年3月10日（土）
■会場	東京ウィメンズプラザホール
■入場料	無料（日英通訳あり）



会場案内

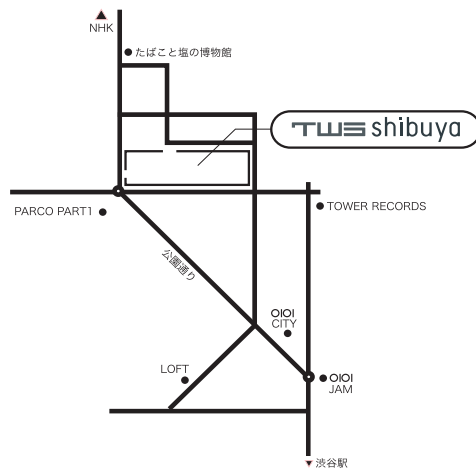
トーキョーワンダーサイト渋谷

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8

TEL: 03-3463-0603

FAX: 03-3463-0605

■交通案内: 渋谷駅 (JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線)より徒歩8分
駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。



* 関連プログラム「OPEN STUDIO」、「トーキョー・ストーリー2011」(仮称)時のみ公開

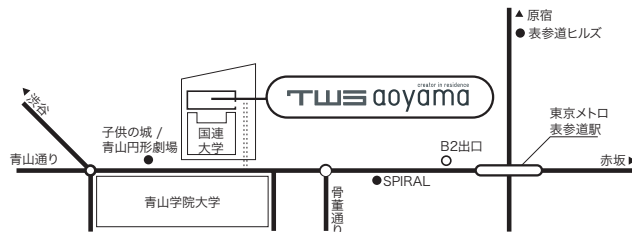
トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山 SOUTH 棟3F

TEL: 03-5766-3732

FAX: 03-5766-3742

■交通案内: 表参道駅B2出口 (東京メトロ銀座・半蔵門・千代田線)より徒歩7分
渋谷駅東口 (JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線)より徒歩8分
お車でご来館の場合は、近隣の有料駐車場 (同ビル地下3F)をご利用ください。



* フォーラムのみ開催

東京ウィメンズプラザホール

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67

お知らせ

トーキョーワンダーサイト (TWS) では、ツイッター、フェイスブックを開設しました。
TWS3館のプログラムやイベント情報を、よりタイムリーにお知らせします。



@TokyoWonderSite (日本語)

@TWS_EN (ENGLISH)



Tokyo Wonder Site (日本語)

Tokyo Wonder Site EN (ENGLISH)

Facebook

マスターアーティスト紹介

チャン・ヨンヘ重工業 | Young-Hae Chang Heavy Industries

韓国出身のヨンヘ・チャンと、米国出身のマーク・ヴォージュによるユニット。ソウルを拠点に活動。人間がもつ普遍的な心理、葛藤を浮かび上げ、ユーモアに辛辣さを利かせた言葉と音楽で表現した作品をのべ17カ国の言語で発表している。テート美術館（ロンドン）、ポンピドゥー美術館（パリ）、ニューミュージアム（NY）などでコミッション・ワークを制作発表。2011年秋にはブラジル・メルコスルビエンナーレに出展予定。



〈THE LIFE OF THE CITY OF THE MIND〉2011
HD QuickTime movie, original text and music soundtrack
8 meters x 4.5 meters

Public installation, Freyberg Place,
Auckland, New Zealand
[Living Room: Metropolis Dreaming]

ディン・Q・リー | Dinh Q. Lê

1968年ベトナム生まれ。ホーチミン在住。カンボジアとの国境近くで育ち、1979年クメール・ルージュの侵襲から逃れるために、10歳で家族と共に渡米。カリフォルニア大学修了後、スクール・オブ・ビジュアル・アート（NY）にて修士号取得。写真、彫刻、ビデオ作品などを通して、戦争や移民、人々の記憶テーマに制作している。2010年MoMA（NY）にて個展開催。アーティスト活動の傍ら、ロサンゼルスでベトナム芸術財団（VNFA）、ホーチミンに非営利ギャラリーのサン・アートを共同設立。



〈Erasure〉2010, Mixed-media installation
Commissioned by the Sherman Contemporary Art Foundation, Sydney, Australia.

ウィット・ピムカンチャナポン | Wit Pimkanchanapong

1976年タイ・バンコク生まれ。1999年、イギリス・セント・インスティテュート・オブ・アート&デザイン、メイドストーン、ヴィジュアル・コミュニケーション修士取得。マッピング、歪み、ハイパーテキストといった概念に焦点を当て制作を続ける一方、地元の鑑賞者の“接近性”と、それがどのようにグローバルなアートの文脈とともに機能するかをテーマにしている。近年の主なグループ展にシンガポール・ビエンナーレ（2008）、第6回アジア・パシフィック・トリエンナーレ（ブリスベン、2009）など。また、「Soi Project」の主要メンバーとしても活躍している。



〈Fruits〉2007, Installation, activity

ゲストアーティスト紹介

米田知子 | Tomoko Yoneda

1965年兵庫県生まれ。91年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了後、ロンドンを拠点に「記憶」と「歴史」をテーマに作品を制作。主な展覧会に「記憶と不確かさの彼方」（資生堂ギャラリー、2003）、「雪解けのあとに」（シュウゴアーツ、2005）、「終わりは始まり」（原美術館、2008）、Kuandu Biennale（台湾、2010）、「Bye Bye Kitty!!」（ジャパソンスイエティー NY、2011）。現在、10年以上ぶりに帰国し、TWS 青山：クリエイター・イン・レジデンスを拠点に、明治以降から東日本大震災を受けた現在までの日本に焦点を当ててリサーチを行っている。



〈ウエディング-中国から北朝鮮を臨む国境の川〉2007, 丹東, type C print

アジア若手アーティスト紹介

トラン・ミン・ドゥック | Tran Minh Duc

1982年ベトナム・ホーチミン生まれ。カレッジ・オブ・カルチャー・アンド・アーツ・オブ・ホーチミンシティ卒業。人間関係やコミュニケーションへの興味から都市の動きをテーマに活動している。主な展覧会に「The Dogma Prize in Self Portraiture」（ホーチミン市立美術館）、「Ho Chi Minh City Young Artists Grant Program Exhibition」（メルボルン・シティ・ライブラリー・ギャラリー、メルボルン、2010）、シンガポール・ビエンナーレ（2011）など。



〈Normal Day No. 2 (some day in NY)〉2010, Digital C-prints on calender sheets, 38 x 27.5cm

クウワイ・サムナン | Khvay Samnang

1982年カンボジア生まれ。プノンペンのカンボジア王立大学で絵画を学ぶ。2010年、JENESYSプログラム・協働スタジオプログラムにてTWS 青山：クリエイター・イン・レジデンスに滞在し、サムナン・タクシープロジェクトをスタート。その後さらにこれを展開、活動の幅を広げ、写真、インスタレーション、パフォーマンスといった様々なメディアで変動するアジアの社会へコミットする作品を展開している。また、カンボジアでササ・アートギャラリー、SA SA BASSACを主宰。



〈UNTITLED〉2011, Digital C-print, 80x120cm

グリッサコーン・ティンタップタイ |

Krissakorn Thinthupthai

1979年タイ・スリン生まれ。幼少時にバンコクに移住して以来、寺での生活を続けている。Pohchang Academy of Arts 卒業。商業広告や映画製作の現場を経た後、タイを代表する映画監督であるアピチャッポン・ウィーラセタクン設立の映画製作会社キック・ザ・マシーンにてアシスタントとしての経験を積む。近年は自身の作品もロッテルダム、ニューヨーク、ハンブルグをはじめとした多くの国際映画祭で上映されている。



《Now Showing》2009, video with sound, 21min

日本人若手アーティスト紹介**岩井優 | Masaru Iwai**

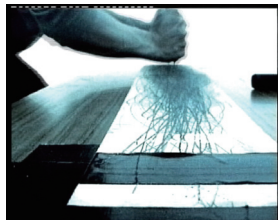
1975年京都府生まれ。2009年東京藝術大学美術研究科後期博士課程修了。博士(美術)。岩井はこれまで「クリーナーズ・ハイ」というテーマで、清掃/ごみを作品制作に持ち込んでいる。インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多岐に渡る表現媒体を用いて、我々の暮らしに内在する清潔への欲望を、予先を知らずながら示し、循環的な営みを問い直している。国内での活動の他、台北、ソウル、ボスニア、グルジアなど海外での展覧会およびレジデンスに多数参加。



《Galaxy wash》2008, HD Video, 15min

小泉明郎 | Meiro Koizumi

1976年群馬県生まれ。ロンドンのチェルシー・カレッジにて映像を学び、2005年から2年間ライクス・アカデミー(アムステルダム)にて制作活動を行う。人間の心理や感情の深層を追究した映像作品を制作する。主な個展にアネット・ゲリック・ギャラリー(アムステルダム、2010)、森美術館(東京、2009)。主なグループ展にリバプール・ビエンナーレ(2010)、メディア・シティ・ソウル2010、「インビジブル・メモリー展」(原美術館、2011)など。



《無題》2000, single channel video installation

田村友一郎 | Yuichiro Tamura

1977年富山県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科修了。Google Street Viewのイメージだけで構成されたロードムービー《NIGHTLESS》は、平成22年度文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞。恵比寿映像祭、オーバーハウゼン国際映画祭、佐藤雅彦ディレクション「これも自分と認めざるをえない」展(2010)に参加。2010年度TWS国内クリエイター制作交流プログラム参加。写真、映像の他、日常に予期せぬ出来事を挟みこむことで、フィクションを含むリアリティを映像化した、体験型・劇場型インスタレーションによる作品を制作。



《this world is continuous or not? / この世界は、ひとつづきか否か?》2011, Film, Installation